

抗体医薬品ダウンストリーム プロセスの効率化

2025年1月23日(木) 14:00~15:15

抗体医薬品のダウンストリームプロセスは製造コストの50-60%を占めると言われており、プロセスの効率化によるコスト削減は重要な課題となっています。

本ウェビナーでは、JSR ライフサイエンス株式会社より講師をお招きし、抗体のアフィニティ精製を効率化する新開発の ProteinA 担体とその応用例についてご紹介いただきます。また、連続クロマトグラフィーシステムを使用したポリッシングステップの効率化についてもご紹介いたします。

参加費 無料（事前登録制）

開催方法 オンライン（Zoom）

申込方法 下記 URL または QR コードからお申し込みください。

https://ymc-co-jp.zoom.us/webinar/register/5017319039553/WN_mTf1721ZRUE5v57Js8N3g



詳細は裏面をご覧ください→

抗体医薬品ダウンストリームプロセスの効率化 TIME TABLE



14:00~14:05	開会のご挨拶
14:05~14:15	生産性の飛躍的向上とコストダウンを可能にする ツインカラム連続クロマトグラフィーシステム ワイエムシのツインカラム連続クロマトグラフィーシステムは、2本のカラムを使用することで連続的な精製が可能で、従来の単カラムのみで精製する場合と比べて、単位時間当たりの生産性を向上させ精製に伴うコストを削減することができる。本講演では、抗体培養後のキャプチャーおよびポリッシングステップを効率化する連続クロマトグラフィーの精製プロセスを紹介する。
14:15~14:45	 JSR Life Sciences 新規 ProteinA 担体 Amsphere™ A+の開発及び 連続精製プロセスへの応用展開 招待講演 講師：徐 盈佳 様 (JSRライフサイエンス株式会社 工学博士) 2024年9月に上市した新規 ProteinA 担体 Amsphere™ A+の諸性能および応用展開について紹介する。本製品は従来のIgG抗体に対し業界トップレベルの高い動的結合容量 (DBC)、アルカリ耐性、優れた圧力耐性、及び優れた不純物クリアランス性能を有する。また、特殊抗体 (Fc融合タンパク質やVHH) に対しても他社品対比で高い結合能を有する。さらに、本製品は高流速で高いDBCを発現するという特徴があり、本特性を活かし株式会社ワイエムシのツインカラム連続クロマトグラフィーシステムを用いた連続精製プロセスへの応用展開を実例と共に紹介する。
14:45~15:05	抗体ポリッシング工程の効率的な精製プロセス ツインカラム連続クロマトグラフィーの連続精製プロセス Integrated Batch では、2モードのクロマトグラフィー精製を連続的に実施でき、中間タンクも不要なため、時間短縮やコストの削減を達成できる。 本講演では、抗体精製のポリッシング工程であるアニオン交換とカチオン交換クロマトグラフィー精製を Integrated Batchにより連続的に実施した例を紹介する。また、生産性を向上させるメソッド構築のポイントも説明する。
15:05~15:15	質疑応答、閉会のご挨拶 ※ご質問はチャットをご利用いただけます。